

Ⅲ-9

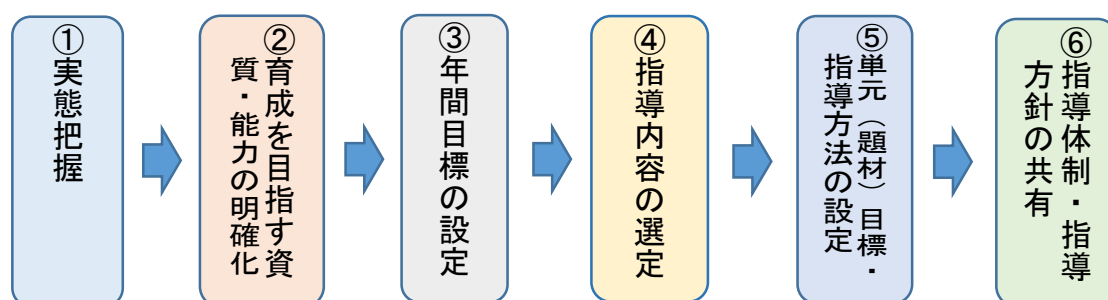
# 個別の指導計画をつくろう

## (1) 個別の指導計画の意義

個別の指導計画は、個々の児童生徒の実態に応じて適切な指導を行うために学校で作成されるものです。教育課程を具体化し、障がいのある児童生徒など一人一人の指導目標、指導内容及び指導方法を明確にして、きめ細やかに指導するために作成するものです。

## (2) 個別の指導計画作成の手順

各教科において作成する個別の指導計画は、児童生徒一人一人の各教科の習得状況や既習事項を確認するための実態把握が必要です。また、児童生徒が卒業するまでに各教科等の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのか、各教科の指導内容の発展性を踏まえ、指導目標を明確にすることが大切です。更に、指導内容を習得し指導目標を達成するために児童生徒一人一人に対する指導上の配慮事項を付記するなど、児童生徒の実態や各教科等の特質等を踏まえて、様式を工夫して作成することが大切です。



(図) 各教科等における個別の指導計画作成の手順(例)

## (3) PDCAサイクル



PDCAサイクル  
はどのように活用  
するのですか？

児童生徒にとって適切な計画かどうかは、実際の指導を通して明らかになります。PDCAサイクルは、前期・後期の単位で見直すだけでなく、1単位時間の授業においてもPDCAサイクルの視点で授業改善を図ることが大切です。

